

日本防犯設備協会技術標準

SES E 0002-4

防犯図記号

Graphical Symbols for Security Apparatus

1991 年（平成 3 年）12 月 3 日 制定
2002 年（平成 14 年）3 月 20 日 改正
2006 年（平成 18 年）5 月 1 日 改正
2015 年（平成 27 年）5 月 19 日 改正



公益社団法人 日本防犯設備協会

防 犯 図 記 号

Graphical Symbols for Security System

1991年12月3日制定
2002年3月20日改正
2006年5月1日改正
2015年5月19日改正






1 適用範囲

この規格は、防犯用関連機器及び警戒表示に関する図記号について規定する。

- 注記 1** 図記号の大きさを変えることは自由であるが、相似な形を推奨する。ただし、線の太さを変えて用途を区別するなどの応用を行ってもよい。
- 注記 2** 必要がある場合には、図記号に番号などを付記し、別に凡例を付け、その区別を明示してもよい。
- 注記 3** 図記号は、機能類似の他のものに準用することができるが、この場合には符号その他適当な方法によって、その性能を明らかにする必要がある。
- 注記 4** この規格に定めていないもの、又はこの規格で不十分なものに対しては、他の図記号との組み合わせ、文字や記号の併記などによって表すことを推奨する。

























2 防犯図記号










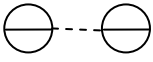
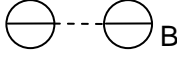
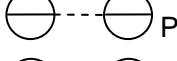
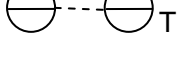













2.1 一般的事項に関する図記号

名称	図記号	摘要
埋込型		必要に応じ、図記号の上に円弧を描く。
壁付		必要に応じ、図記号の壁側に棒線を引く。
屋外用		必要に応じ、図記号の上に屋根型を付ける。
警戒区域境界線		配線の図記号より太くする。
警戒区域番号		(1) ○の中に警戒区域番号を入れる。 (2) 必要に応じ、○上部に必要事項、下部に警戒区域番号を入れる。

2.2 防犯設備に関する図記号

2.2.1 侵入警報設備関連

名称	図記号	摘要
警報制御盤		必要に応じ、種別、回線数を傍記する。
副警報制御盤		必要に応じ、種別、回線数を傍記する。
入出操作器		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：カード式  C</p> <p>テンキー式  T</p> <p>キー式  K</p> <p>ダイヤル式  D</p> <p>指紋式  F</p> <p>静脈式  VI</p> <p>顔式  FC</p> <p>虹彩式  IR</p>
威嚇器		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：ベル  B</p> <p>ブザー  BZ</p> <p>サイレン  S</p> <p>照明  L</p> <p>音声  V</p>
検知器（点検知器）		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：マグネットスイッチ  M</p> <p>リミットスイッチ  L</p> <p>シャッター検知器  S</p> <p>振動検知器  V</p> <p>ガラス破壊検知器  G</p> <p>傾斜検知器  T</p>










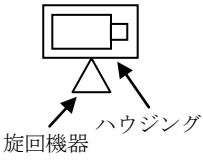
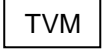

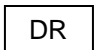

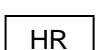
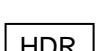
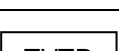
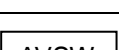
名称	図記号	摘要
検知器 (空間検知器)		<p>(1)必要に応じ、種別を傍記する。 (2)必要に応じ、同一種別の中の区分を傍記する。 (3)必要に応じ、方向を示す場合は矢印を付記する。</p> <p>例：赤外線パッシブ検知器 立体警戒型  P/S 赤外線パッシブ検知器 面警戒型  P/F 赤外線パッシブ検知器 スポット警戒型  P/SP 超音波式検知器 片方向警戒型  U/S 超音波式検知器 両方向警戒型  U/D ガラス破壊音検知器  G マイクロ波式検知器 送受一体型  MW レーザー式検知器  L</p>
検知器 (線検知器)		<p>(1)必要に応じ、検知器を点線で結ぶ。 (2)必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：断線式検知器  B 引抜き式検知器  P テープ式検知器  T</p> <p>(3)対向式のものは 投光器  、受光器  を点線で結ぶ。 必要に応じ、種別及び最大設置距離(標準条件)を傍記する。</p> <p>例：赤外線ビーム検知器  ---  I 赤外線ビーム検知器 (反射式)  I マイクロ波式検知器 送受分離型  ---  MW</p>
非常通報スイッチ		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：押しボタンスイッチ  P クリップ型スイッチ  C フットスイッチ  F 引きスイッチ  PL</p>
電源装置		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p>






名称	図記号	摘要
自動通報機（自動送信機）		<p>必要に応じ種別、回線数を傍記する。</p> <p>例：自動送信機 公衆回線 PU</p> <p>自動送信機 専用回線 PR</p> <p>自動通報機 音声 V</p>
区分表示器		必要に応じ、回線数を傍記する。
無線式機器		<p>(1)必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>(2)必要に応じ、図記号の上にアンテナのシンボルを付ける</p> <p>例：検知器（ビーム検知器） </p> <p>赤外線パッシブ検知器 P/S</p> <p>非常通報スイッチ P</p> <p>受信機（無線） </p> <p>送信機（無線） </p> <p>中継器（無線） </p>

2.2.2 出入管理設備関連





名称	図記号	摘要
識別装置		図記号、種別の傍記例とも、2.2.1 侵入警報設備関連の“入出操作器”と同一とする。
出入管理装置	AC	必要に応じ、種別を傍記する。
電気錠制御盤	L	必要に応じ、種別を傍記する。
電気錠		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：通電時解錠型 U</p> <p>通電時施錠型 L</p> <p>瞬時通電施解錠型（自己保持型） I</p> <p>モーター施解錠型 M</p>
鍵管理装置		

2.2.3 防犯カメラ設備関連



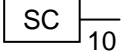
名称	図記号	摘要
防犯カメラ (NTSC 対応)		(1)ドーム型は、次による。  (2)必要に応じ、種別を傍記する。 例：PTZ 一体型 
防犯カメラ (IP-IF 対応)		(1)ドーム型は、次による。  (2)必要に応じ、種別を傍記する。 例：PTZ 一体型 
防犯カメラ (HD-SDI 対応)		(1)ドーム型は、次による。  (2)必要に応じ、種別を傍記する。 例：PTZ 一体型 
旋回機器		
ハウジング		
モニターテレビ		
防犯カメラ装置架 (監視カメラ装置架)		
デジタルレコーダー (NTSC 対応)		
デジタルレコーダー (IP-IF 対応)		
デジタルレコーダー (ハイブリッド対応)		
デジタルレコーダー (HD-SDI 対応)		
タイムラプスビデオ (タイムラプス VTR)		
映像切替器		

名称	図記号	摘要
映像分配器		
映像補償器		
エンコーダー		
デコーダー		
ビデオセンサー		





2.2.4 インターホン設備関連

名称	図記号	摘要
インターホン親機		
ドアホン子機		
集合玄関機		必要に応じ、集合玄関機を構成する識別装置の方式・種別を機器一覧表などに注記する。
住宅情報盤		

2.2.5 その他防犯設備関連

名称	図記号	摘要
電子式物品監視装置 アンテナ部		必要に応じ、照合方式の種別を機器一覧表などに注記する。
センサーケーブル		必要に応じ、ケーブル接続可能本数を傍記する。 

2.2.6 情報設備関連

名称	図記号	摘要
パーソナルコンピューター		
プリンター		
スイッチングハブ		
ルーター		

関連規格 : SES E 0001
SES E 9906
JIS C 0303

防犯に関する用語
防犯図記号の登録運用規定
構内電気設備の配線用図記号

SES E 0002-4（防犯図記号） 解説

1 SES E 0002-4 改正の経緯

5年毎の見直し改正に向けて、2013年4月に（公社）日本防犯設備協会の各専門委員会より意見聴取した結果の反映及びSES E 0001（防犯に関する用語）、SES E 9902（SES E 規格票の様式）との整合を行った。

2 JIS C 0303（構内電気設備の配線用図記号）、他規格などとの整合

- (a) 警報制御盤、区分表示器、電源装置、自動通報機（自動送信機）は、JIS C 0303-2000 “6.9 機械警備設備” 警報制御盤の図記号と同様に正方形とした。
- (b) 非常通報スイッチは、JIS C 0303-2000 “5.2 警報・呼出・表示装置” 押しボタンの図記号と同様とした。防犯カメラ（監視カメラ）は、JIS C 0303-2000 “6.8 監視カメラ設備” CCTV、フィルムカメラの図記号と同様に区別しないこととした。
- (c) モニタ部、防犯カメラ装置架（監視カメラ装置架）、タイムラプスVTR、映像切替器、映像分配器、映像補償器は、JIS C 0303-2000 “6.8 監視カメラ設備” と同様な図記号とした。
- (d) インターホン親機、ドアホン、集合玄関機、住宅情報盤は、JIS C 0303-2000 “6.8 監視カメラ設備” と同様な図記号とした。
- (e) 電子式物品監視装置アンテナ部、センサーケーブルは、日本EAS機器協議会に図記号が存在しないことを確認の上、当該協議会と協議して決定した。
- (f) 識別装置は、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、平成25年版）“防犯・入退室管理装置” 識別部と同様な図記号であることを確認し、2.2.1 侵入警報設備関連の“入出操作器”と同一とした。

3 図記号に付す主な英字の略号

・副警報制御盤	S	:Sub【副】
・電気錠制御盤	L	:Electric Lock【電気錠】
・入出操作器 指紋式	F	:Finger print【指紋】
・入出操作器 静脈式	VI	:Vein【静脈】
・入出操作器 顔式	FC	:Face【顔】
・入出操作器 虹彩式	IR	:Iris【虹彩】
・威嚇器 ブザー	BZ	:Buzzer【ブザー】
・威嚇器 音声	V	:Voice【音声】
・検知器 マグネットスイッチ	M	:Magnet【磁気】
・検知器 振動検知器	V	:Vibration【振動】
・検知器 傾斜検知器	T	:Tilt-switch【傾斜】
・検知器 赤外線パッシブ検知器 立体警戒型	S	:Space【立体】
・検知器 赤外線パッシブ検知器 面警戒型	F	:Face【面】
・検知器 赤外線パッシブ検知器 スポット警戒型	SP	:Spot【スポット】
・検知器 超音波式検知器 片方向警戒型	S	:Single【片】
・検知器 超音波式検知器 両方向警戒型	D	:Double【両】
・検知器 ガラス破壊音検知器	G	:Glass【ガラス】
・検知器 マイクロ波式検知器	MW	:Micro-wave【マイクロ波】
・検知器 断線式検知器	B	:Breaking of wire【断線】

・検知器 赤外線ビーム検知器	I : <u>I</u> nfrared 【赤外線】
・非常通報スイッチ 押しボタンスイッチ	P : <u>P</u> ush 【押し】
・非常通報スイッチ クリップ型スイッチ	C : <u>C</u> lip 【クリップ】
・非常通報スイッチ 引きスイッチ	PL : <u>P</u> u <u>l</u> l 【引き】
・自動通報機（自動送信機）公衆回線	PU : <u>P</u> u <u>b</u> lic 【公衆】
・自動通報機（自動送信機）専用回線	PR : <u>P</u> ri <u>v</u> ate 【専用】
・受信機	R : <u>R</u> ecei <u>v</u> er 【受信機】
・送信機	T : <u>T</u> ransmitter 【送信機】
・出入管理装置	AC : <u>A</u> cc <u>e</u> s <u>s</u> <u>C</u> on <u>t</u> rol 【出入管理】
・電気錠 通電時解錠型	U : <u>U</u> nlocked by a continuous flow of current 【通電時解錠】
・電気錠 通電時施錠型	L : <u>L</u> ocked by a instantaneous Current flow 【通電時施錠】
・電気錠 瞬時通電施解錠型	I : <u>L</u> ocked and unlocked <u>I</u> nstantaneous By an flow of current 【瞬時通電施解錠】
・電気錠モーター施解錠型	M : <u>M</u> otor locking and Unlocking 【モーター施解錠】
・鍵管理装置	KEY : <u>K</u> ey safe-keeping system 【鍵管理装置】
・防犯カメラ PTZ 一体型	PTZ : <u>P</u> an, <u>T</u> ilt, <u>Z</u> oom 【パン、チルト、ズーム】
・デジタルレコーダー（NTSC 対応）	DR : <u>D</u> igital <u>R</u> ecorder 【デジタルレコーダー】
・デジタルレコーダー（IP 対応）	NR : <u>N</u> etwork Digital <u>R</u> ecorder 【デジタルレコーダー】
・デジタルレコーダー（ハイブリッド対応）	HR : <u>H</u> ybrid Digital <u>R</u> ecorder 【デジタルレコーダー】
・デジタルレコーダー（HD-SDI 対応）	HDR : <u>H</u> igh <u>D</u> efinition Digital <u>R</u> ecorder 【デジタルレコーダー】
・タイムラプスビデオレコーダー	TVTR : <u>T</u> ime-lapse <u>V</u> ideo <u>T</u> ape <u>R</u> ecorder 【タイムラプスビデオレコーダー】
・映像切替器	AVSW : <u>A</u> udio <u>V</u> ideo <u>S</u> witch 【映像切替器】
・エンコーダー	ENC : <u>E</u> ncoder 【符号化装置】
・デコーダー	DEC : <u>D</u> ecoder 【復号装置】
・ビデオセンサー	VMD : <u>V</u> ideo <u>M</u> otion <u>D</u> etector 【ビデオセンサー】
・電子式物品監視装置 アンテナ部	EAS : <u>E</u> lectric <u>A</u> rticle <u>S</u> urveillance 【電子式物品監視】
・センサーケーブル	SC : <u>S</u> ensor <u>C</u> able 【センサーケーブル】
・パーソナルコンピューター	PC : <u>P</u> ersonal <u>C</u> omputer 【パーソナルコンピューター】
・プリンター	PRT : <u>P</u> rinter 【プリンター】
・スイッチングハブ	HUB : <u>S</u> witching <u>H</u> ub 【スイッチングハブ】
・ルーター	RT : <u>R</u> outer 【ルーター】

審議委員会：規格調査委員会、警報システム分科会

委員長：阿部 工 (NEC プラットフォームズ株式会社)

委員：横田 和典 (三菱電機株式会社)
小栗 輝久 (サクサ株式会社)
渡邊 真基 (セコム株式会社)
吉田 範康 (富士通テレコムネットワークス株式会社)
富田 俊介 (東洋テック株式会社)
天野 博之 (オプテックス株式会社)
増田 誠良 (ホーチキ株式会社)
木村 隆 (株式会社日本アレフ)
瀬沢 外茂幸 (高千穂交易株式会社)
中田 浩幹 (竹中エンジニアリング株式会社)
緑川 則和 (竹中エンジニアリング株式会社)
野崎 哲朗 (NEC プラットフォームズ株式会社)

事務局：大手 一郎 (公益社団法人 日本防犯設備協会)

※ 平成 27 年 5 月 14 日 現在

SES E 0002-4

防犯図記号

発行 2015年（平成27年）8月

編集 公益社団法人 日本防犯設備協会 規格調査委員会

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物です。本書に記載の内容を転載される場合は、事前に(公社)日本防犯設備協会の承諾を得てください。この規格についての意見又は質問は、(公社)日本防犯設備協会 事務局にご連絡ください。

なお、SES E 規格は、少なくとも5年を経過する日までに(公社)日本防犯設備協会 委員会運営会議の審議に付され、速やかに、確認、改正、廃止されます。

発行所 公益社団法人 日本防犯設備協会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-4（第2長谷川ビル）

TEL:03-3431-7301 FAX:03-3431-7304 E-mail:info@ssaj.or.jp